

芝生化講演会

# ここがヘンだよ！ 日本のスポーツ



私たちは、当然のように土の上で遊んだり、競技スポーツも行ってきました。しかし、子どもの時代に草(芝生)の上で遊ぶことが、その後のスポーツライフに大きな影響を及ぼすとしたら！？そして、地域の大人の考え方一つで、子どもたちが草(芝生)の上で遊ぶことができるとしたら！？グラウンドの芝生化について考えてみませんか？

日 時：平成19年12月1日(土)14:30～16:30

場 所：しまとぴあスカイセンター ホール

内 容： 講演「ここがヘンだよ日本のスポーツ！」  
NPO 法人 グリーンスポーツ鳥取  
ニール・スミス さん(裏面にプロフィール掲載)  
ココカラでの現状と今後の取り組み(報告)

対 象： 保育園・小学校・中学校の先生方  
スポーツ少年団指導者や保護者の方々  
その他地域の皆様どなたでも興味のある方は是非お越しください！

そ の 他： 参加無料です！





## ニール・スミスさん プロフィール（ブログ芝生化奮闘記より）

鳥取県鳥取市在住、ニュージーランド生まれ。1974年に初来日した時以来、日本の校庭や運動場（グラウンド）が土であることに違和感を感じて生活をしていました。土のグラウンドが一カ所もないニュージーランドで育った人間にとって、固くて転んだら出血する日本の校庭やグラウンドが日本の子供達から外で思いっきり良く走り回り、安心して遊ぶ権利を奪っているように見えてしょうがないです。

行政や教育関係者は「お金がかかるから」とか「芝生の維持管理が難しいから」とか管理者の都合を最優先し、子供の健康や安全を完璧と言っていい程無視している姿勢にはもっと驚かされました。

いくら海外では芝生にはそんなお金もかかっていないと説明していても、口うるさい外人のくせにとかここは日本だからとか結局聞き入れてもらえないことなく10数年が経ちました。

ところで1998年に妻の古里鳥取に来て生活基盤が落ち着いたら、色々な出来事や出会いを通じて、2004年から今の芝生化運動を何となくという感じで始めることになりました。

最初は自分がまだ健在のうちに気持ちよく芝生の上でラグビーが出来る地元クラブを作りたいのがきっかけでグリーンフィールドを整備し、またも何となくその延長線上で校庭や空き地を芝生にする運動を起こすようになり、今は自分でも恥ずかしいくらい注目されています。



問 合 せ： NPO 法人 ココロとカラダ健研究会 事務局  
周防大島町西屋代147  
tel:080-1919-1857 fax:0820-74-3999  
[sports@cocokara-oshima.org](mailto:sports@cocokara-oshima.org)  
<http://www.cocokara-oshima.org>

主 催： NPO 法人 ココロとカラダ健研究会  
後 援： 周防大島町教育委員会  
協 力： 愛山青少年活動推進財団

